



都市型総合リサイクル企業

# Toko Metal

Multi Material Recycler

東港金属株式会社

## 環境報告書2008





東港金属株式会社  
(Toko Metal Co.,Ltd)  
代表取締役  
(President)

**福田 隆**  
(Takashi Fukuda)

## 循環型社会構築を目指して

東港金属株式会社は1902年(明治35年)創業以来、106年にわたる金属加工と産業廃棄物中間処理などのリサイクル業務に携わってきた経験を活かし、多方面のお客様の使用済み製品を資源循環の輪に乗せて「循環型社会」構築の一翼を担って参りました。

世界的に金属資源が枯渇に向かっている現在、よりすぐれたリサイクルの仕組みを推進することで、排出事業者や地域社会にお役に立ちながら、地球環境保全に貢献することが弊社の任務と自覚しておりますが、その事業推進活動をありのままに公表し、ステークホルダーの皆様方に、事業の透明性、信頼性を評価いただきたく、昨年「環境報告書2007」を発行致しました。本年もまた、弊社の経営基本理念、「人を活かす」「資源を活かす」「社会に活かす」に基づくリサイクル新技術での取り組み状況を皆様にご理解いただきたく、このたびここに第2版「環境報告書2008」の発行に到りました。

弊社は、事業活動によって生じる環境への負荷低減を持続的に実施するシステムを構築するために、2006年にISO-14001を取得し、従業員が一丸となって社会に貢献できる企業を目指して努力しております。リサイクル効率向上につきましても、処理工程の見直しや、処理機

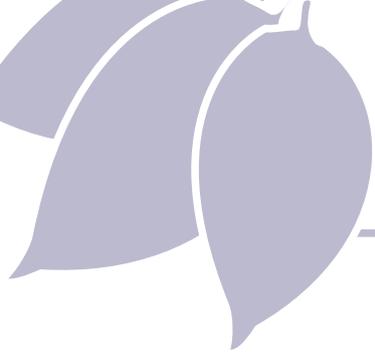
材の改良等を絶えず工夫検討を続けており、本年4月には都心の京浜島にあります本社工場に加え、千葉県富津市に建設中の新工場が稼働を始めました。

新工場は千葉県緑化協定に基いて構内の緑化を推進し、周辺の自然環境保護と従業員の労働環境保全に努めています。現在はスクラップ類の中間処理を中心に稼働させておりますが、ドイツ製の最新シュレッターを導入したことにより、リサイクル率UPに加え、工程上の労働負担も少なくなりましたので、労働災害も抑制され、社員の安全を従来にまして確保できるようになりました。また、中期環境保全の目標は全て達成されました。今後は更なる向上を目指します。京浜島という都心での処理をメリットとしている排出事業者の皆様には、京浜島本社の窓口でお引き受けしたものを、一括して千葉工場へ輸送することによりCO<sub>2</sub>排出量をトータルで減少させることが出来るルートも敷いております。

循環型社会構築のため、環境保全への努力は産業廃棄物処理業者のみならず、全ての事業活動に課せられた義務でありますので、弊社を利用されることにより、排出事業者の皆様が、直接的にそして間接的に地球環境保全に貢献することとなりますので、それも弊社の使命との心がまえで活動しております。

## 沿革

1902年(明治35年)	創業者福田勝西が、東京市神田に伸銅品と非鉄金属地金の問屋を開業、終戦後、店を芝金杉に移す。
1947年(昭和22年)	会社組織にし、製品の問屋業を株式会社福田地銅店が、地金の問屋業を東港金属株式会社が扱う事となった。
1960年(昭和35年)	東京精錬株式会社を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行なう。
1978年(昭和53年)	栗山鑄造株式会社及び株式会社アイアイデーの両社を合併し、東京精錬株式会社の社名を東京銅合金工業株式会社と商号変更した。
1997年(平成9年)	精錬部門と営業部門が一体化し、東港金属株式会社が東京銅合金工業株式会社を吸収合併し、東港金属株式会社となる。
2001年(平成13年)	家電リサイクル法施行に基づき指定引き取り場所となる。
2002年(平成14年)	東京都とエコトライ協定を締結。
2003年(平成15年)	家電リサイクル指定集積所及びスクラップ取扱い増を目的とした第二ヤードを開設する。
2004年(平成16年)	プラスチック用ベラー設置により、リサイクルへの取組みが一段と推進される。
2006年(平成18年)	ISO-14001認証取得。
2007年(平成19年)	東京都港区芝に東京事務所を開設し、営業部門及び事務部門の一部を移転。
2008年(平成20年)	千葉県富津市に建設中の千葉工場が本格稼働。



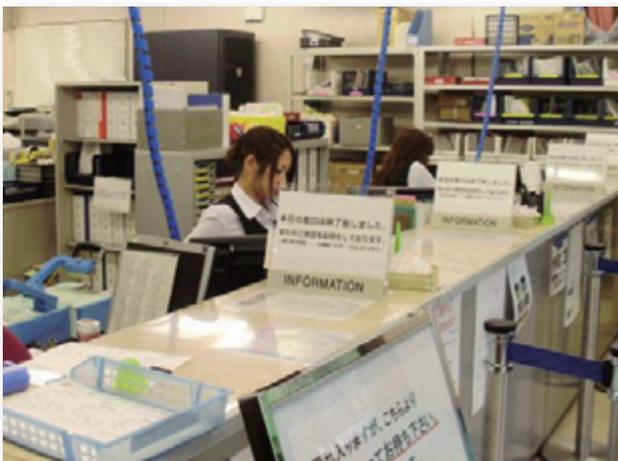
より優れた  
リサイクルの仕組みを推進し、  
排出事業者や地域社会に貢献します



## 環境報告書対象組織・期間

この環境報告書は、東港金属株式会社全社(本社・本社工場・千葉工場・東京事務所)を対象範囲とし、対象期間は、当社の第63期(2007年7月～2008年6月)をまとめたものです。

報告書の中での「事業活動における環境負荷の全体像」については、千葉工場の稼働は2008年4月より開始しましたが、前報告書との比較(連続性)の観点から今回のデータより除外しております。



## 目次

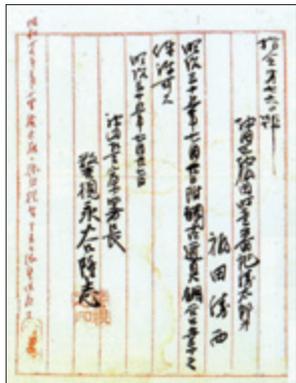
ご挨拶	1
会社概要	3
環境方針(基本理念、行動指針)	4
環境マネジメント体制	5
事業活動における環境負荷の全体像	6
中期環境保全計画	6
本社工場のリサイクルフロー	7
リサイクル委託先の声	8
千葉工場のリサイクル	9
法的及びその他の要求事項と取り組み	11
教育・コミュニケーション	13
ガイドライン対照表	14

## 編集方針

ステークホルダーの皆様に東港金属株式会社の環境への取り組み姿勢を中心とした業務内容をそのまま報告することにより、事業活動の透明性、信頼性を評価いただきたく作成いたしました。

今年は、千葉工場が稼働を始めたので、リサイクル効率を上げるシステムを紹介する中で、地域環境保全に留意した業務推進状況を紹介しております。また、この環境報告書は、環境省環境報告ガイドライン(2007)及び、東京都環境局、環境報告書ガイドライン(2005年度版)を参考にして作成いたしました。

なお、環境に配慮し、印刷物は発行せず、ホームページで取り組み状況を掲載させていただきました。



創業時の古物商許可証

## 会社概要

社名 東港金属株式会社 Toko Metal Co.Ltd  
 代表者 代表取締役社長 福田 隆  
 設立 1902年(明治35年) 7月  
 資本金 10,000万円  
 従業員数 86名(派遣社員を含む2008年6月15日現在)  
 年商 73.9億円(2008年6月期)  
 事業所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所

## 事業概要

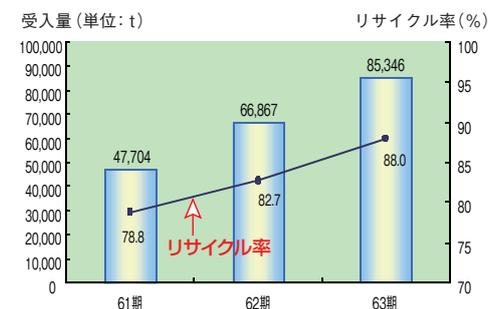
- 金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- プラスチックの各種リサイクル
- 産業廃棄物の収集、運搬及び中間処理業、リサイクル
- 産業廃棄物中間処理許可【東京都第13-20-018874号】
- 産業廃棄物収集運搬及び保管、積み替え【東京都第13-10-018874号】  
 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、埼玉県、千葉県、千葉市、他
- 家電リサイクル法 Aグループ指定引取場所
- その他

## 売上・受入れ量・リサイクル率の実績

### 売上高実績推移グラフ

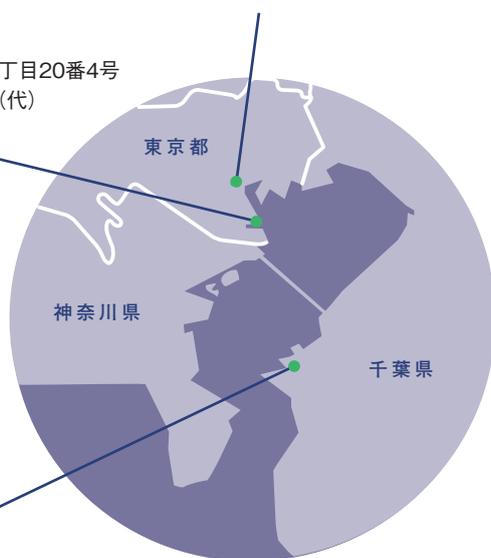


### 廃棄物等受入量とリサイクル率



東京事務所  
 〒105-0014  
 東京都港区芝2丁目7番2号 芝園ビル4F  
 Tel : 03-5730-0880 (代)  
 Fax : 03-5730-0440

本社  
 〒143-0003  
 東京都大田区京浜島2丁目20番4号  
 Tel : 03-3790-1751 (代)  
 Fax : 03-3790-1755



千葉工場  
 〒293-0011  
 千葉県富津市新富52-1  
 Tel : 0439-80-4545 (代)  
 Fax : 0439-80-4646

# 環境方針



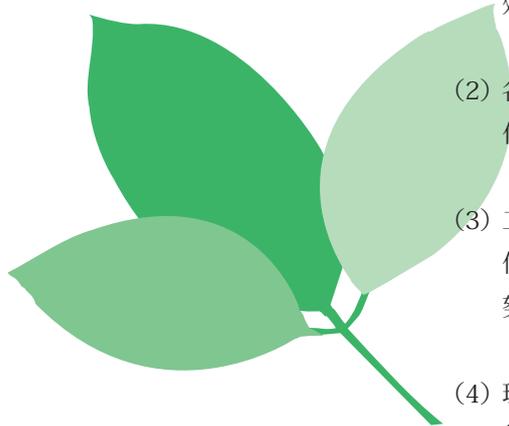
東港金属は、2006年4月に「環境方針」を制定し、その基本理念に基づき、地球環境保全の方針を掲げ、全ての従業員が、その達成に向けて努めております。

## 基本理念

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、地球環境保全のために尽くします。

## 行動指針

- 1 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 2 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守するために自主基準を設け、管理し、環境保全水準の向上を図ります
- 3 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
  - (1) 取扱商品の入荷量を拡大することにより、資源のリサイクル率向上を目指し天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
  - (2) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
  - (3) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
  - (4) 環境保全の質的向上を図り汚染の予防と周辺地域環境の向上に努めます。
  - (5) 資源の有効活用のため、コピー用紙使用量の削減に努めます。



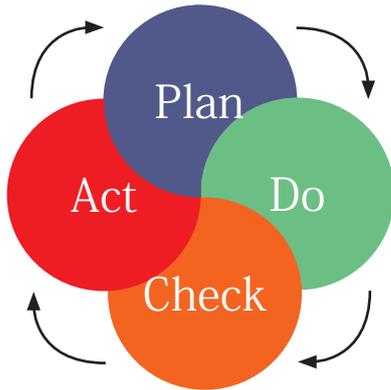
2008年7月1日  
東港金属株式会社

代表取締役 **福田 隆**

# 環境マネジメント体制

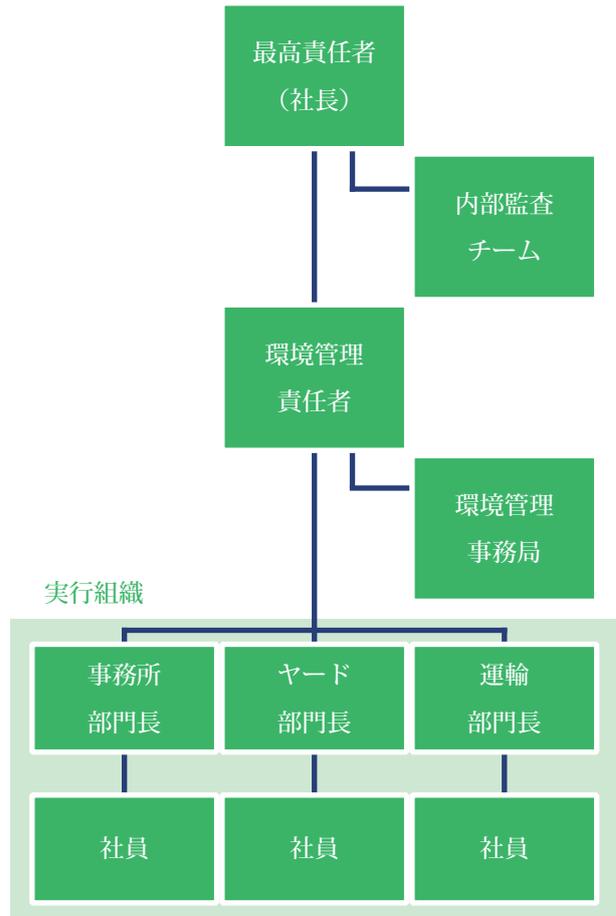
当社は、社長を最高責任者とした環境マネジメント体制で、社長より任命された環境管理責任者が環境マネジメントシステムを統括し、PDCAサイクルを活用して地球環境保全計画を推進、実施しております。

## PDCAによる継続的改善・実施



- 環境に関する経営方針作成・見直し
- 環境マネジメントシステム実行
- トップマネジメントによるレビュー
- 監査の実施基幹計画のレビューと業績評価

## 推進体制



## 環境マネジメントシステム (ISO14001) 2回目のサーベイランスに合格しました

東港金属は、2006年7月に、事業活動によって生じる環境への負荷の低減を、持続的に実施するシステムを構築するために、要求される規格であるISO-14001を取得いたしました。その環境方針に基づき、環境負荷の少ないリサイクル事業に正面から取り組み、従業員が一丸となり社会に貢献できうる企業を目指し、尽くしております。

本年は、2回目のサーベイランスを受け、1件の軽微な不適合が指摘されましたが(注1)、総括としては、資源受入量拡大、電力削減、リサイクル率向上、コピー用紙削減、燃料使用量削減の指定全取り組みにおいて成果が出ており、継続的な改善が図られているとの評価を頂きました。今後は更に細部にも目を向け、地球環境への負荷を少しでも減らすことが出来るよう改善努力を続けてまいります。

注1：指摘された軽微な不適合

法律または受入を決めた要求事項について、「著しい環境影響の原因となる可能性をもつ作業及び法定業務に従事する者に対する力量基準一部の業務で記録が確認できませんでした。」との指摘を受けましたが、力量表(基準)と力量記録を繋がるように是正しました。



## 情報セキュリティマネジメントシステム (手続き中)

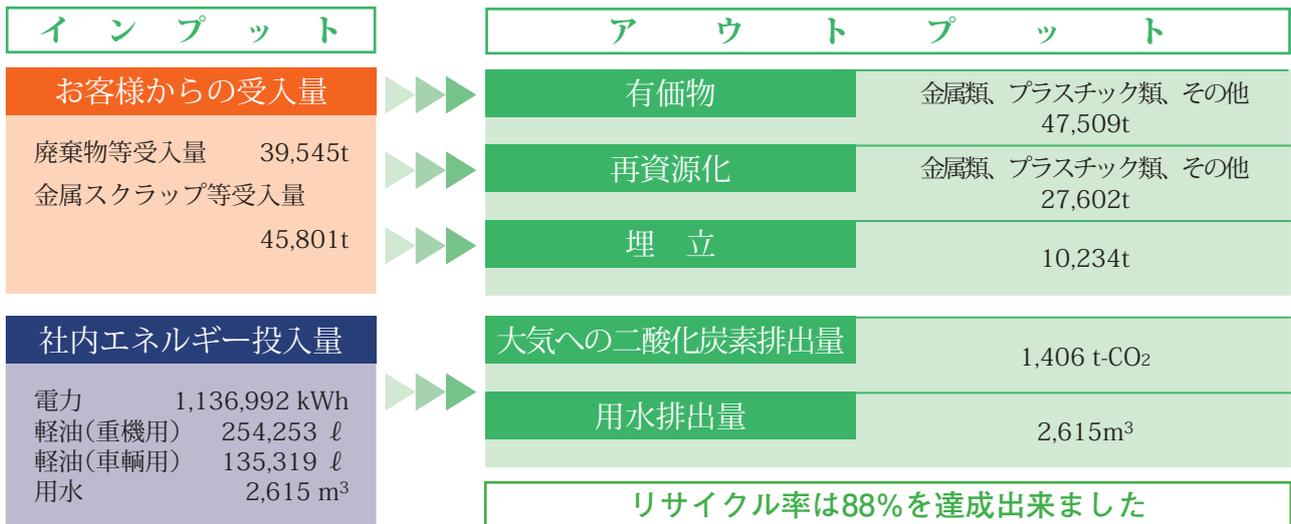
当社は、廃棄物マニフェスト等数多くのお客様の情報の管理を充実させるため、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に対応し、既にセキュリティ管理責任者を決めました。現在、その管理責任者を核として、個人情報管理を包含する「情報セキュリティマネジメントシステム」の導入を目指し、手続き中です。

# 事業活動における環境負荷の全体像



事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方では環境に負荷を与えることも避けられません。どうしたら環境負荷を低減しながら処理できるかを常に考え、資源の有効活用に取り組んでいます。

第63期(2007年7月～2008年6月)本社工場の主な環境負荷は下図の通りです。63期は、お客様からの受入量増加に伴い、電力使用量は増えましたが、設備、車輛の稼働効率を工夫改善した結果、軽油の使用量は減少したため、二酸化炭素排出量増加は、受入量増加割合の50%に抑えることが出来、CO<sub>2</sub>排出削減に貢献しました。



二酸化炭素排出量計算根拠：

温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(平成20年5月 環境省・経済産業省発行)よりCO<sub>2</sub>排出量(tCO<sub>2</sub>)算出計算式を用いました。

燃料の使用：CO<sub>2</sub>排出量(tCO<sub>2</sub>) = 燃料使用量 × 単位発熱量(軽油) 38.2GJ/kl × 排出係数(0.0187tC/GJ) × 44/12

電気の使用：CO<sub>2</sub>排出量(tCO<sub>2</sub>) = 電気使用量(kwh) × 東京電力排出係数0.000339(tCO<sub>2</sub>/kwh)

## 63期中期環境保全計画

事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、環境保全計画として、省エネ省資源化の達成すべき目標を設定しました。今63期は前期に引き続き目標を大きくクリアできました。

	推進項目	施策	年度末目標	結果数値	<span style="color: orange;">☀</span> 達成 <span style="color: blue;">☂</span> 達成度 <span style="color: grey;">☂</span> 未達成
全社	資源受入量拡大	仕入れ価格の適正化 商品の在庫期間圧縮 受入ヤードの準備 仕入れ先の拡大	対61期22,318(t)の 49.1%増 33,000 t	45,801 t	☀ 対目標値 38.8%の 受入量拡大
	電力使用量削減 電力使用量原単位= 電力使用量(kwh) / 製品出荷量(千t)	破砕機の効率的運転 電気使用機械の効率的運転 エアコンの適正温度運転 メインスイッチのこまめな切断	対期首14,496(kwh / t)の 2.0%改善 14,206kwh / 千t	13,322 kwh / 千t	☀ 対目標値 6.2%の 改善達成
	最終処分量削減 リサイクル率(%) = [受入量(t) - 最終処分量(t) / 受入量(t)] × 100	サーマルリサイクルの処分先拡大 選別ラインの導入 客先への選別徹底の提案 再生処理品の拡大	リサイクル率81.0%	88.0%	☀ 対目標値 7ポイントの リサイクル率 向上
事務・ヤード	燃料使用量削減 燃料使用量原単位= 燃料使用量(ℓ) / [製品入荷量(千t) + 出荷量(千t)]	アイドリングストップの励行 アクセルの吹き過ぎ防止 効率的な積み下ろし・運転 省エネ車の導入 車輛の定期点検・整備	対61期3,390(リットル / t)の 6.2%改善 3,180ℓ / 千t	2,283 ℓ / 千t	☀ 対目標値 28.2%の 改善達成
事務	コピー用紙使用量削減 コピー用紙原単位 コピー用紙購入枚数(枚) / [製品入荷量(千t) + 出荷量(千t)]	裏紙の使用徹底 不要資料の作成削減 配布資料及び配布先の適正化 メール・電子化の推進 棚卸下不用品資料の活用	対61期3,131(枚 / 千t)の 17.0%改善 2,600枚 / 千t	2,193 枚 / 千t	☀ 対目標値 15.7%の 削減達成

# 本社工場のリサイクルフロー

東港金属は、資源の枯渇が懸念されている中で、そのまま廃棄するとゴミとなる金属スクラップや産業廃棄物など多品目を受入れ、手作業も含めて徹底した選別、切断・破碎の中間処理をし、出来る限り再原料化・再燃料化を実現し、資源が循環することを目指しています。4月に稼働を開始した千葉工場では、更に高度の分別を可能としたシュレッダーマシンを導入しました。

## 収集・運搬

### 多品目取り扱い

従来、種類別・マテリアル別に専門業者に振り分けて搬入していた廃棄物、混合物、有価金属などを、窓口ひとつでワンストップのリサイクル処理が可能。多様な設備と処理能力で、業務効率と費用の最適化を実現。

※一般廃棄物、医療系、原子力危険物、液状物は除く。  
※金属は有価物として買取可能。

#### 廃家電4品目

エアコン・テレビ・洗濯機・冷蔵庫選別→集積→搬出  
(メーカー指定リサイクル工場へ)



電線



ペットボトル



OA機器



混合プラスチック



自転車



鉄くず

## 選別

### 徹底した選別

大型廃棄物から鉄と非鉄、プラスチックまで分解・選別することができる「マルチ解体機」(大型磁力選別機)を保有。併せて手作業による徹底した分解、仕分けを実践した後、ヤード内にある仕分け用ピットで細分管理。



大型仕分ピット



解体



選別ライン



手解体ライン

## 中間処理

### 破碎・切断

国内初、最新鋭高速切断機「ギロチンシャー」の導入をはじめ、複数の破碎機やジャンボプレスパーラー、天井クレーンを刷新し、作業効率と処理スピードの向上を実現した。さらに、ヤード内のレイアウトに配慮し、作業のオートメーション化を促進。



切断



破碎



プレス



パーラー

## リサイクル

### 再原料化・再燃料化

プラスチックフレーク、プラスチックペール、銅系再生合金、電線ナゲット銅、再生銅原料、木くずチップ、古紙原料、カレット、プラスチック燃料など、可能な限り再生原料化(マテリアルリサイクル)と、再生燃料化(サーマルリサイクル)を実現。



特号銅線(99.99%)



再生プラ原料(PET)



基板



燃料プラスチック



アルミ



製鋼原料(甲山)



# リサイクル委託先の声を伺いました

東港金属は、排出事業者からお預かりした廃棄物を中間処理工程で破碎・切断処理後に、信用のおけるリサイクル先で発電用に利用及びサーマルリサイクル、マテリアルリサイクルをお願いしています。委託先の各社に評価をお願いしました。



## 東京臨海リサイクルパワー株式会社様

(会社紹介)

最先端技術を駆使し適正処理とリサイクルを実現する、安心と信頼をいただける施設として設立されました。

都内に立地する環境性能に優れた国内最大規模の廃棄物リサイクル処理施設として、産業廃棄物 550t/日・感染性医療廃棄物 50t/日(最大100t/日)の処理が可能で、起動停止時以外は、化石燃料に頼らないシステムで余分なCO<sub>2</sub>発生を抑制しております。また、ダイオキシン類の低減目標を法規制の1/10と自主管理値を設定しております。処理方法はガス化溶融による高度なりサイクル処理を行い処理に伴う熱を回収し23,000キロワットの発電を行っております。このガス化溶融技術にて廃棄物の減量化を行い最終処分量の削減に寄与しております。更に、副産物として排出されるスラグは路盤材等に利用されまた金属も鉄、アルミとして回収し資源化を図っております。



### 東港金属への評価・要望 (担当：長谷川 健氏談)

評価； 京浜島工場様と千葉工場様から常時安定的にご搬入頂いています。搬入物もよく分別されていて扱いやすいので、感謝しております。

要望； 特に京浜島工場様からは距離的にも近いところにありますので更なる搬入増を期待しております。意見； 従業員の皆様は、訪問時や電話対応等でも丁寧なご対応を頂いておりますので、当社も見返って参りたいと思います。

## 株式会社トクヤマ様

(会社紹介)

株式会社トクヤマのセメント部門は、セメントの供給を通じて社会資本充実に貢献すると同時に、生産においては廃棄物のリサイクルを積極的に拡大することで、循環型社会の構築に向けた活動を展開しております。

このセメント工場では、自社のソーダ灰工場からの副産物や自家発電設備からの石炭の燃えかすを原料として有効利用することを目的に1938年に操業を開始しました。現在では社内のみならず社外からも大量の廃棄物・副産物を受け入れ、リサイクル資源として活用しています。廃棄物・副産物の多くは、セメント原料である石灰石、粘土、けい石など共通の成分を含んでいるので、セメント製造の原料になります。また、可燃性の廃棄物もエネルギーとして利用することができます。セメントキルンの中は1,000～1,800℃と非常に高温のため、可燃性の成分は完全に燃焼してしまいます。さらに、燃焼後の灰分はセメントの構成成分として取り込まれ、焼却灰のような残渣が出ないことも特徴です。

東港金属からの排出物を受入れている当社南陽工場のセメント生産能力は600万トン/年と国内最大級の規模であり、キルンを3本有していることから、廃棄物を安定的に大量に受け入れることが可能です。

当事業では今後も、廃棄物の受け入れ量や受け入れ対象物の拡大等を視野に置き、研究開発を進めているところです。

### 東港金属への評価・要望 (世良田 浩二氏談：資源リサイクル営業グループ グループリーダー)

評価； 京浜島の中間処理工場は都内屈指のロケーションで、福田社長をトップに若いスタッフのクイックアクション・クイックレスポンスにより、収集運搬・中間処理・再資源化に圧倒的な競争力を有しております。当社へは高品位の燃料系廃棄物を、環境負荷の少ないJR貨物の静脈物流を利用し、大量かつ安定的に搬入頂き、セメント製造に用いる石炭の代替に多大なご支援ご協力を賜っております。



## エコシステム小坂株式会社様

(会社紹介)

エコシステム小坂株式会社はDOWAエコシステムグループの一躍を担う会社として、シュレッターダストのリサイクル処理に取り組んでおります。平成14年より秋田県エコタウン計画の一事業として運営を開始し、現在に至るまで大きなトラブルもなく安定した稼働を致しております。シュレッターダスト処理につきまして、安全かつ適正に行うことはもちろんのこと、可燃物の持つエネルギーを蒸気として回収し有効活用を行い、焼却残渣に含まれる(貴)金属を隣接する製錬所などで回収致しております。当グループでは、都市鉱山からの製錬原料の調達を廃棄物・有価物に問わず行っております。

### 東港金属への評価・要望 (エコシステムジャパン リサイクル炉集荷営業部担当者談)

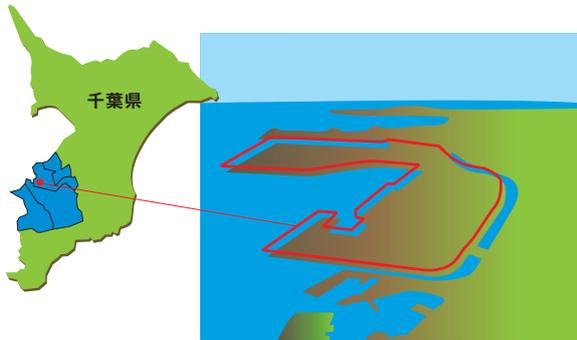
評価； 長期的な計画的・安定的供給がされている。選別トラブル品、焼却不適物の混入が取引当初より著しく減少した。梱包作業は運搬効率が大きく向上するためにありがたい。

要望； DOWAGの環境事業を広く・深く活用していただきたい。



# 2008年4月 千葉工場が稼働開始しました

素材別、色別に再分類を可能として、更なるリサイクル率UP  
そして、1000馬力のシュレッダー導入で、処理量UPを目指します。



敷地面積  
1万2,600坪

## 本社・千葉統括工場長より

千葉工場では大型シュレッダーマシンと、カラー選別機（メタルセパレーター）を設置しました。大きさでの分類の他、基板屑の色での選別も可能となり、素材ごとの分類で、より高いリサイクル率を目指して循環型社会に貢献します。

ラハモン メヘラッテ



## 東港金属千葉工場の特徴

### 1. シュレッダーマシン・選別プラントです。

大幅なリサイクル率UPが可能となり、資源循環に貢献します。

### 2. 敷地面積1万2,600坪の広い敷地内に環境を配慮した屋内設置プラントです。

シュレッダー本体を屋内に設置し、ハイブリッド型集塵機の採用など、地域社会や工場運営上の環境に配慮したプラントです。

### 3. 24時間×7日間稼働を行う予定です。

都市部でのオフィス移転や工場休止時間の排出など、排出者さまの都合に合わせての受入れが可能です。

### 4. 船積みでの出荷が可能です。

敷地面積12,600坪のリサイクル工場としては大型ヤードを擁し、保管能力が高い上に、港湾部に近く（工場から約700m）の位置にある富津港もリサイクルポート指定、従来の船積み港である木更津港も近く船積み出荷が可能になります。

## 以下の方法でリサイクル率を上げていきます

### 高度なリサイクル技術を取り入れた処理設備

日本国内では1号機になる複合選別機能ラインカラー選別機の複合機メタルセパレーターを導入（メタルセパレーター＝金属探知機方式で金属一般選別とステンレスのみの選別が可能な選別機）

- ・従来の鉄、非鉄ミックス（渦電流方式）の回収はもとより各素材ごとに分類が可能
- ・金属探知と色選別との複合機能により基板くずの選別が可能
- ・廃棄OA機器、機械くず、ライトスクラップからの金属原料の徹底回収が可能

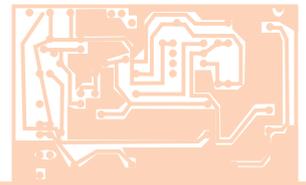
これにより、リサイクル先も、国内処理、国内メーカー納入はもとより、原料のグローバルマーケット化にも対応してまいります。

### 1000馬力の最新鋭ドイツ製シュレッダー本体の導入

- ・大型機械破碎、大量処理が可能です。
- ・時間当たり30トンの処理が可能です。

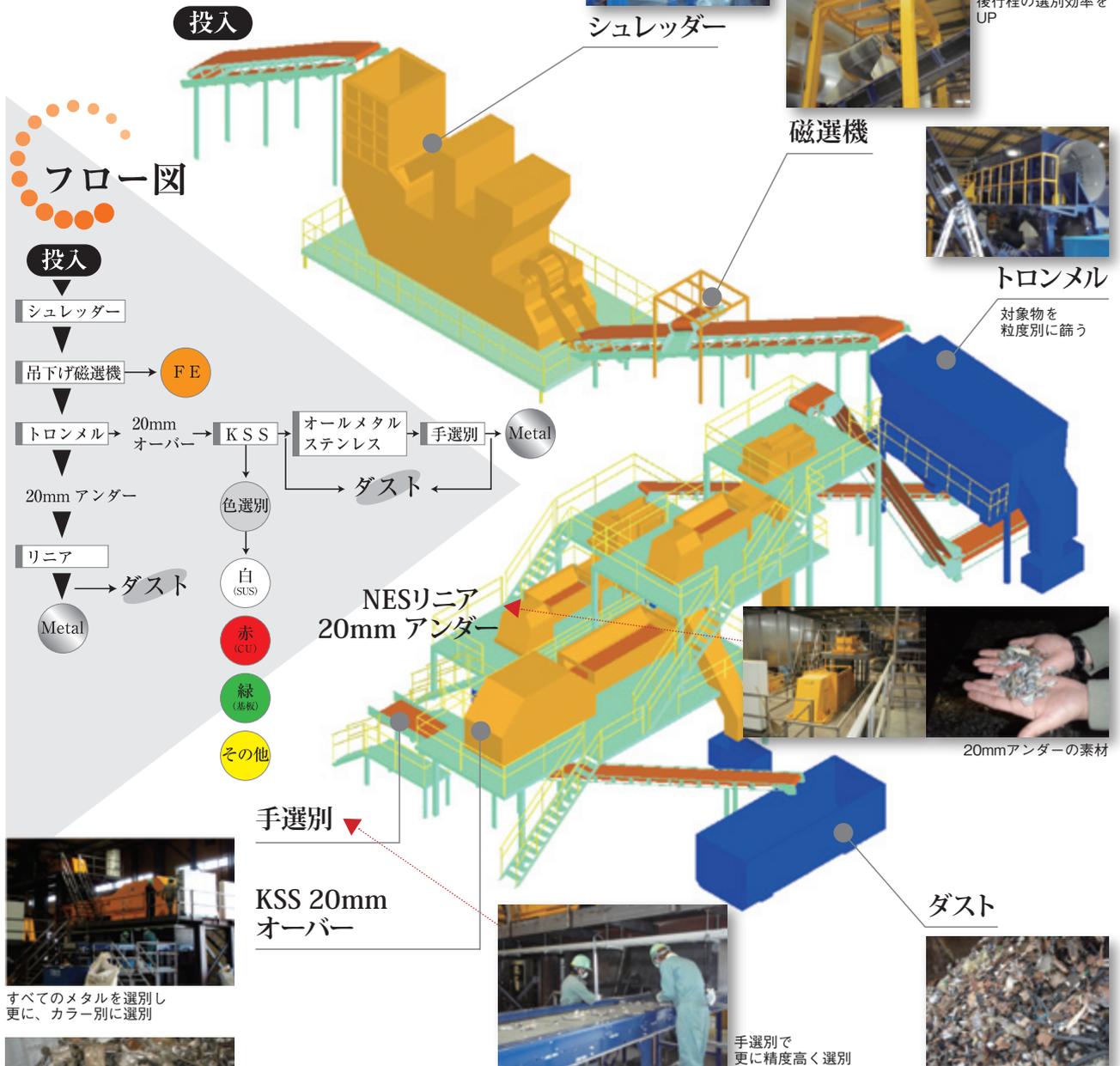
4月に稼働開始致しましたので、本報告書対象期間（平成19年7月～平成20年6月）に、実処理実績データは反映されていません

# 千葉工場のリサイクルフロー



資料提供: 株式会社フジテックス Shuttle

1,000馬力のシュレッダーや、全てのメタルの選別、ステンレスのみの選別、カラー選別も出来る、高度なりサイクル設備を導入し、リサイクル率を向上させています



## 千葉工場立ち上げの試運転から担当しています。

ドイツから導入した大型シュレッダーやメタルセパレーターなど、屋内の隅々まで見渡せる、中央の高台に位置する管理室で、運転状況から防災監視システムまでを集中管理しています。ひと目でトラブルの発生箇所を判別し、すばやい対応をすることが出来ます。稼働率・リサイクル率がUPして今まで以上に資源循環に貢献できていることが嬉しいです。

生産部  
鈴木祐一郎



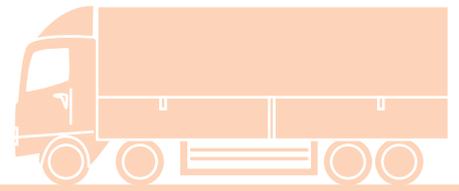
# 法的及びその他の要求事項と取り組み

当社の事業と関連する主な法規制は以下の通りです。

第63期(2006年7月～2008年6月)は行政より指導・勧告等の指導を受ける違反はありませんでした。

また、近隣住民からの苦情もありませんでした。

環境側面		法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	該当施設等	該当部署	必要資格
自動車運行	運搬車輛、 自家用車	道路交通法	①自動車免許、速度制限、積載制限	運搬車輛 自家用車	運搬班	大型・普通 免許
		NOx・PM法	①規制対応車種 ②PM減少装置の取り付け	—	運搬班	—
[業務] *廃棄物の受入、 *収集運搬及び 処分業	金属屑 廃プラスチック類 ガラス屑及び 陶磁器屑	廃棄物処理法 エコトライ協定 (東京都)	①廃棄物再生業/廃棄物の収集運搬及び処 分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約;許可番号、事業の範囲、有効期 限、処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に負荷を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業務として 被処理物の 受け入れ  業務全般か らの排出	全体	収集運搬業 中間処理業 古物商
[事業者] 廃棄物の排出	産業廃棄物の 排出					
[業務] 廃家庭電気製品の 受入	テレビ エアコン 冷蔵庫 洗濯機	家電 リサイクル法	①再商品化工場へ ②管理票(家電リサイクル券)	テレビ エアコン 冷蔵庫 洗濯機の 指定集積所	事務班 ヤード班	—
[事業者] 廃家電電気製品の 排出	テレビ エアコン 冷蔵庫 洗濯機 パソコン他				事務班	—
トラックスケールの 使用	トラック スケール	計量法	①トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年検査	トラックス ケール(20t ・40t・50t)	事務班	—
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	ヤード班	ヤード班	—
フロン類の 回収	業務用空調機・ 業務用冷蔵庫か らフロン回収	フロン類回 収破壊法	東京都知事による登録	ヤード班	ヤード班	第一種フロン類 回収業者登録
PCB入り コンデンサー の保管	PCB入り コンデンサー	PCB廃棄物 特別措置法	PCB廃棄物の適正な保管 保管状況の東京都への報告	ヤード倉庫	管理責任者	—
材料および エネルギーの 使用を物品の 購入時に考慮	物品の購入	グリーン 購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷 を軽減する	事務班	事務班	—



## 東京都と「エコライ協定」を締結しています

エコライ協定とは、産業廃棄物の適正処理の徹底と資源化の促進を図るため、東京都と法令以上の取り組みを約束するもので、事業者は産業廃棄物処理による環境への負荷を低減し、又、率先して取り組み状況を公表することにより、事業者・都民・行政が問題解決にむけて協力していく環境を作ることが目的としています。東港金属は、処分業者として平成14年11月1日に東京都とエコライ協定（産業廃棄物適正処理・資源化推進協定）を締結し、率先努力をしています。平成20年4月に再締結いたしました。



## アスベスト処理の収集運搬に協力しています

製品の断熱材などに使用されている非飛散型アスベストを法に基づいて適正に処理しています。

## グリーン購入を実施しています

物品の購入については、購入の必要性を十分に考慮し、環境負荷の低減に努めている事業者から、出来る限り環境負荷が小さい製品やサービスを優先して購入しております。

## 従業員の衛生管理

従業員の衛生と健康管理のため、各工場とも休憩室を兼ねた食堂を設置して衛生的な場所で食事をしています。また、作業終了後は、シャワーで汗を流し、使用した作業衣を洗濯する指導をし従業員の衛生と健康を配慮して清潔な作業場の環境維持に努めています。



## 特定フロンの回収をしています

当社は、フロン類回収破壊法に対応するため、東京都にフロン回収業者として登録し、産業廃棄物として回収した業務用冷凍機等の冷媒として使用されているフロンを適正に回収して破壊処理業者に引き渡しています。この回収により、廃棄に伴ってフロンが大気中に放出されずに済み、温暖化防止に役立っています。

## 廃家電品リサイクルに協力しています

当社は、家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に基づく、家電メーカー Aグループの指定引き取り場所として、排出された使用済み廃家電を引き取り、メーカーごとに選別し、メーカー指定リサイクル工場へ引き渡し、適正にリサイクルされるよう協力しております。



# 教育・コミュニケーション

## 従業員教育(社内環境教育と社外研修)

常に環境を考慮した事業活動を推進するため、全社レベルでの環境教育を実施しています。

当社は、隔月に全従業員を対象とした安全衛生に関する報告・討論会を開催し、環境意識の向上を目指すほか、

環境安全会議、ビジネスマナー講習会では、お客様への対応は勿論、お引き受けする廃棄物の知識も学習し、常に環境への意識を持って仕事をする姿勢を身につけています



定期的にビジネスマナー研修を実施、また、当社がお引き受けするスクラップや産業廃棄物の物質に関する基礎知識の勉強会を設けて、お客様のご要望に対応できるようレベルアップを図っています。

運輸部門では定期的にドライバーズ会議を開催し、安全運転が全てに優先することを周知しています。過積載運搬の防止についても指導をし、運行管理者によるウォッチをするとともに、ドライバーの健康や、走行中の環境配慮を心がけるための情報交換をしています



運輸部門の講習会

### 勉強会参加者の言葉

廃棄物処理法や、電子マニフェストの講習会に参加し知識が増えたことで、日々の業務に活かすことが出来、仕事に励みが出ています。



東京事務所 蔡 佑辰

## 業務関連資格者一覧

作業については法令遵守や安全作業のための資格取得を奨励しており、個別に社外講習会に参加させ、産業廃棄物処理法の基本をはじめとして、マニフェスト・安全衛生・労働災害等の必要な知識を吸収するよう指導しています。

資格名	取得人数	資格名	取得人数
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1	フォークリフト運転	41
破砕リサイクル施設技術管理士	2	小型移動クレーン	16
産業廃棄物の新規許可申請講習(収集運搬)	5	玉掛技能講習	25
産業廃棄物の新規許可申請講習(処分)	2	ショベルローダー	10
ISO14001IMS審査員補(JAB、IRCA)	1	高所作業クレーン	2
ISO内部監査員(環境)	6	床上操作クレーン	3
ISO内部監査員(情報セキュリティ)	1	5t未満クレーン	5
公害防止管理者(大気1種、水質1種)	1	不整地整備者運搬	1
危険物取扱者	1	低圧電気取扱業務	1
建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者	1	小型車両建設機械	2
機械製図作業二級	1	はい作業	2
第二種電気工事士	10	ガス溶接	5
防火管理者	1	アーク溶接	3
大型特殊自動車	10	車両系建設機械運転	4
牽引	41	運行管理者	2
ユンボ	31	冷媒回収	3

## 防災訓練

定期的に防災訓練にも力を入れており、討論会や、実施訓練で不測の災害に備えています。

### 防災責任者の言葉

予期せぬ災害に備えて、定期的に防災訓練を実施しており、通報、消火、救出の訓練を通して、チームワークづくりをめざしています。毎回真剣そのものの訓練です。

安全衛生副委員長 山本兼嗣



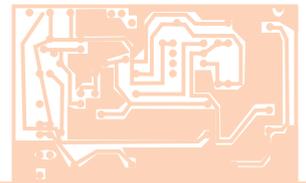
## 5S活動を推進中

職場環境の維持・改善、そして何よりも従業員のモラル向上のため、「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「しつけ」の5S活動を推進した結果、業務の能率化や省エネ、コストダウンについて社員それぞれの意識が高まり、職場内で助け合い精神が広がっています



5S活動で改善された職場環境

# ガイドライン対照表



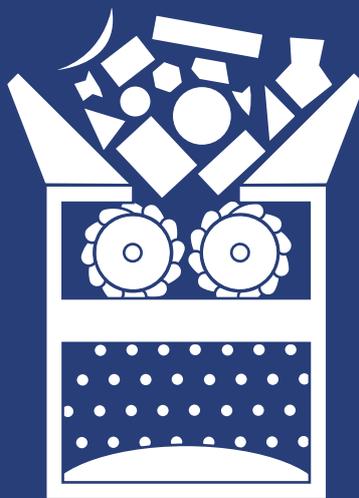
環境報告ガイドライン（2007年版）における項目		掲載ページ
基礎的情報		
(1)	経営責任者の緒言	1
(2-1)	報告に当たっての基本的要件	2
(2-2)	報告対象組織の範囲と環境負荷の補足状況	2
(3)	事業の概況	3
(4-1)	主な指標等の一覧	2,3,6,11
(4-2)	事業活動における環境配慮の取り組みに関する目標、計画及び実績等の総括	6
(5)	事業活動のマテリアルバランス	6

マネジメント・パフォーマンス指標		
(1)	事業活動における環境配慮の方針	4
(1-2)	環境マネジメントシステムの状況	5
(2)	環境に関する規制の遵守状況	11
(3)	環境会計情報	-
(4)	環境に配慮した投資の状況	-
(5)	サプライチェーンマネジメント等の状況	8
(6)	グリーン購入・調達状況	12
(7)	環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況	7,8,9,10
(8)	環境に配慮した輸送に関する状況	6
(9)	生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	-
(10)	環境コミュニケーションの状況	13
(11)	環境に関する社会貢献活動の状況	12
(12)	環境負荷低減に資する製品・サービスの状況	7,8,9,10

オペレーション・パフォーマンス指標		
(1)	総エネルギー投入量及びその低減対策	6
(2)	総物質投入量及びその低減対策	6
(3)	水資源投入量及びその低減対策	6
(4)	事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	6
(5)	総生産品生産量又は総商品販売量	3,6
(6)	温室効果ガスの排出量及びその低減対策	6
(7)	大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	6
(8)	化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	6
(9)	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	6
(10)	総排水量及びその低減対策	6

環境効率指標		
(1)	環境配慮と経営との関連状況	1,6,7,8,9,10

社会パフォーマンス指標		
(1)	社会的取り組みの状況	12



東港金属株式会社 <http://www.tokometal.co.jp>

---

**本社**

〒143-0003 東京都大田区京浜島2丁目20番4号  
Tel: 03-3790-1751(代) Fax: 03-3790-1755

**東京事務所**

〒105-0014 東京都港区芝2丁目7番2号芝園ビル4F  
Tel: 03-5730-0880(代) Fax: 03-5730-0440

**千葉工場**

〒293-0011 千葉県富津市新富52-1  
Tel: 0439-80-4545(代) Fax: 0439-80-4646